

いばらき未来基金 冠助成事業

2017年度花王・ハートポケット倶楽部 地域助成事業

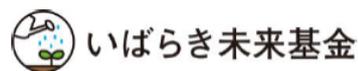
報告書



2018年9月

花王・ハートポケット倶楽部
いばらき未来基金運営委員会

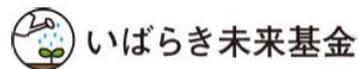




地域課題の解決のための組織基盤強化を応援

**2017年度いばらき未来基金冠助成
「花王・ハートポケット倶楽部地域助成」募集要項**

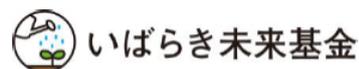
目的	地域のネットワーク形成や居場所づくりの支援といった非資金的伴走型の組織基盤強化支援とともに、以下に掲げる当基金のテーマに沿った活動を助成し、地域課題の解決につなげます。		
財源	花王グループ社員による社会的支援を目的とした「ハートポケット倶楽部」会員の皆様から、いばらき未来基金へのご寄付を原資として助成。		
主催	花王・ハートポケット倶楽部、花王 株式会社		
企画・運営	いばらき未来基金事務局（運営：認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・commons）		
助成対象活動	テーマ	内容	活動例
	<p>テーマ1：共に生きる未来～誰もが安心して暮らせる地域づくり～</p>	<p>災害や不況で家や仕事をなくしたり、家族が離れ離れになったり、風評被害に遭いながらも、前を向いて動こうとする人によりそい、応援する活動があります。日本語が話せない、子どもの世話が大変など、事情があって仕事の機会が限られる人のための支援活動があります。ひきこもりや無縁社会といった現象は、誰もが直面するかもしれない問題です。行政の支援が届かない新たな福祉問題に取り組む活動や、孤立しがちな人のコミュニティづくりなど、共に生きる社会を目指す活動を支援します。</p>	<p>人々の自立やコミュニティをつくる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害で苦勞した人と共に生きる活動 ● 就勞しにくい人の仕事や職場づくり ● 悩んでいる人や家族を支える活動 ● ひとり親世帯や単身世帯を応援する活動 ● 情報・移動・制度・心のバリアを取り除く活動 ● 社会課題への関心・理解を深める活動 ● 課題を抱えた方の自助グループづくり ● 排除されがちな人のセーフティ・ネットづくり
	<p>テーマ2：未来世代と持続可能性～未来の担い手やライフス</p>	<p>経済のグローバル化で、学校では外国とつながる子どもが増え、高校進学が課題になっています。格差が広がり、塾に行けない子どもたちも増えていきます。次世代を担う子どもたちが進学や将来の夢をあきらめなくてすむように、学びを支援することは、</p>	<p>いばらきの未来を創る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの貧困や、学習支援に関する活動 ● 外国とつながる子どもへの支援 ● 若者の進路を拓くキャリア教育 ● ESD(参加型の学習とまちづくり)のプログラム



	タイトル 〜	未来への投資です。また、自然エネルギーの普及や乗り物を共有する仕組みづくりなど、持続可能な生活環境をつくるための活動も地域の未来をつくることにつながります。地域の未来を明るくする人や技術が育つよう、夢や希望を本物の可能性に変える活動を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 食の安全や農業を支える活動 ● 自然エネルギーの普及 ● 自然や環境を次世代に残す活動 ● 地域での資源循環や持続可能な暮らしを広げる活動
	テーマ 3：地域資源の再利用 〜知恵と交流で未来をつくる〜	社会の変化によって、地域にある大事な場所、風景、建物、人のつながり、文化が失われつつあります。限界集落に若者が入って村を残す活動、古い蔵や民家、廃校や公共施設などを改装して次世代に残す活動、商店街や団地の中に人が集う場や小さな福祉拠点をつくる活動など、地域の資源と課題を組み合わせる新たな価値や公共空間を生み出す活動があります。立場や地域を超えて人が交流したり、知恵を出しあって、未来につながる課題解決に取り組むプロジェクトや、地域円卓会議の開催を支援します。	<p>地域のつながりを育む活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 民家や施設を開いた居場所づくり ● 団地の高齢化対策 ● 地域資源を生かしたタウンミュージアム ● 地域を紹介する情報の発信 ● 地域や世代を超えた交流企画 ● 都市と農村の暮らしをつなげる活動 ● 企業と NPO など異業種による協働実験 ● つなぐ人材の育成に関する活動
助成 コース	コース名	取り組む課題	当基金による支援内容
	A. ネットワーク形成助成	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題解決の取り組みが、1つの団体によるものに留まっているため、大きなインパクトが残せない ● 同様な取り組みを行っている他の団体や他業種の組織、同じ地域課題や活動に関心のある潜在的なパートナーや支援者とつながっていない 	<p>上記テーマに該当する活動の目的を達成するため、以下のように支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 連携可能性のある他の組織とのつながりづくり ● 多くの市民や組織とつながった、より開かれた参加しやすい組織となることを支援（情報発信支援、寄付やボランティアの募集計画策定支援、組織の信頼性を高めるための会計支援など）
	B. 地域の居場所づくり助成	地域の課題解決に活用できそうな空き家や空き店舗などが、地域で眠ったままとなっている	上記テーマに即した活動の拠点となる、遊休不動産を活用した地域住民が集う居場所づくりを支援（空き家探しのためのチラシづくりやプレス・リリースの作成支援、拠点維持・整備のための寄付金などの資金調達計画策定支援など）



資金支援以外の支援	<ul style="list-style-type: none"> ● いばらき未来基金を運営する、認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・ commons などによる上記の組織基盤強化支援や相談を受けられます。 ● 専門的な相談内容の場合、相談料有料の場合あり。 	
助成金額	1 件あたり 25 万円	
助成件数	合計 2 件（コース選択制とし、1 つのコースに 2 件助成する可能性もあり）	
申請可能な団体	<ul style="list-style-type: none"> ● 茨城県内で継続的に活動に取り組む、情報発信に積極的な、民間の非営利活動団体 ● 事務所所在地が茨城県内になくても、活動場所が県内であれば申請可能 ● 法人格の有無は問いません ● 政治、宗教を主目的とする組織は対象としません 	
対象経費	<p>選択した助成コースに係るコンサル謝礼金などのほか、人件費や間接経費も含め、対象経費に制限はありません。ただし、助成期間終了後の活動の持続可能性に関して、対象経費の配分も含め審査の対象となります。</p> <p>※ 申請する特定の活動に対する助成であり、組織への包括的補助ではありません。</p>	
助成割合	<p>10/10</p> <p>※ 行事参加費などを徴収いただいて構いません。活動の持続可能性を考慮すると、行事参加費は重要です。</p>	
スケジュール(予定)	2017 年 7 月 7 日 (金) ~ 8 月 20 日 (日) ※ 当日消印有効	助成申請受付
	2017 年 8 月下旬 ~ 9 月中旬	第 1 次審査
	2017 年 9 月下旬	第 2 次審査
	2017 年 10 月上旬	助成決定通知 (書面)
	2017 年 10 月中旬	助成金贈呈式実施、助成金振込
	2017 年 10 月 21 日 (土) ~ 2018 年 8 月 15 日 (水)	活動実施
	活動終了後 1 か月以内もしくは 2018 年 8 月 31 日 (金) のいずれか早い日まで	報告書提出
選考方法	<p>第 1 次審査 (書類選考) : いばらき未来基金運営委員会が設ける選考委員会にて、別紙申請書にて審査</p> <p>第 2 次審査 (書類選考) : 花王・ハートポケット倶楽部会員数百名による投票</p>	
選考基準	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域課題の解決に明確に結びつくか ② 助成によって組織基盤や地域とのつながりが強化されるか ③ 新たな居場所と出番は増えそうか (多様な世代の参加など) ④ 市民の共感を得やすいか ⑤ 他の組織のモデルとなるか ⑥ 活動の実現可能性 ⑦ 資金の用途は適切か 	
助成金の交付	<p>ご指定の団体口座に一括で銀行振込を行います。</p> <p>※ 個人口座へのお振込みはできませんので、ご了承ください。</p>	



活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ● ご負担にならない範囲で、活動実施状況を随時ご報告ください。 ● A4 で 1～2 ページ程度の書式に、活動写真とともに簡単な報告をいただきます。何を行ったかではなく、どのような成果が生まれたかを重視します。 ● 領収書コピーの送付などは不要です。
申請方法	<p>以下の書類を、申請窓口まで郵送。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 申請書（ウェブサイトより書式をダウンロード） ② 予算書（ウェブサイトより書式をダウンロード） ③ 最新の事業報告書及び決算書類 ④ 必要に応じ、その他参考となる資料（団体パンフレットや会報、新聞記事など） <p>※ 一般的な助成事業と異なり、審査前のコーディネートを事務局が行います。できれば本申請前に申請書案をぜひ事務局にお送りください。一緒に良い活動企画を練り上げましょう。</p> <p>※ 申請された活動趣旨は評価されたものの、計画などをさらに検討する必要性が認められた場合、申請書や予算書の再修正をお願いすることがあります。</p>
申請窓口・お問い合わせ	<p>いばらき未来基金事務局（認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・commons） 事務局長 大野 寛</p> <p>〒310-0022 茨城県水戸市梅香二丁目 1 番 39 号 茨城県労働福祉会館 2 階 ☎：029-300-4321 FAX：029-300-4320 eメール：office@ibaraki-mirai.org ウェブサイト：www.ibaraki-mirai.org</p>
いばらき未来基金とは	<p>いばらき未来基金は、茨城の未来をつくり、市民の生活を支え、地域のつながりを育む様々な市民活動と、それらを応援したい市民や企業などをつなぐ、茨城のための市民コミュニティ基金です。企業や NPO、労働組合、農協、生協、メディア、大学などからなる運営委員が連携し、認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・commons に事務局を設置し、2012 年から運営しています。</p> <p>市民が地域課題解決の主体となること、また多様な組織の連携による地域課題の解決を推進し、いばらきの未来づくりにつながる活動を応援することを目的としています。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ● ご連絡いただいた個人情報は、茨城 NPO センター・commons の個人情報保護方針に沿って、本事業の運営及び関連するご連絡のみに使用致します。 ● 助成対象活動で作成する広報物などには、必ず本助成事業からの助成である旨、記載してください。 ● 申請した活動内容や予算に変更が見込まれる場合、都度ご相談ください。

助成対象となった活動

助成コース	活動テーマ	活動名	活動内容	団体名	代表者役職名	代表者名	助成金額
A. ネットワーク形成助成	テーマ2:「未来世代と持続可能性」	子ども食堂うしくっ子SUN	子どもと親の孤立化である『孤育て』を何とかしようと、ひとり親家庭、生活保護、準要保護者に、温かい食事の提供と学習支援を行います。	きらきらスペース	代表	諏訪 浩子	25万円
B. 地域の居場所づくり助成	テーマ3:「地域資源の再活用」	空き店舗活用による「小さなお店」7店舗の新規立上げ	「笠間芸術の森公園」に隣接(対面)した好立地条件にも関わらず、全25店舗中数件の空き店舗がある「笠間民芸の里」。この空き店舗を一掃し、“あつまり/まじわり/つながる”をキーワードに、多世代交流のコミュニティを構築します。	グラウンドワーク笠間	理事長	埴 茂	25万円
総額							50万円



2017年度いばらき未来基金冠助成プログラム 「花王・ハートポケット倶楽部 地域助成」活動報告書

活動名	子ども食堂うしくっ子 Sun、自習室・一歩
助成コース	A. ネットワーク形成助成
団体名	きらきらスペース
実施内容	<p>10月29日 第15回子ども食堂うしくっ子 Sun 昼食（ドリア）・学習・自由</p> <p>11月26日 第16回子ども食堂うしくっ子 Sun 昼食（親子丼）・学習・自由</p> <p>12月23日 第17回子ども食堂うしくっ子 Sun 昼食（カレー、ケーキ）・自由</p> <p>30年1月28日 第18回子ども食堂うしくっ子 Sun 昼食（やきそば）・学習・自由</p> <p>2月25日 第19回子ども食堂うしくっ子 Sun 昼食（きつねうどん）・学習・自由</p> <p>3月1日 総会</p> <p>3月21日 第20回子ども食堂うしくっ子 Sun 昼食（シチュー）・学習・自由</p> <p>4月29日 第21回子ども食堂うしくっ子 Sun 昼食（ちらし寿司）・学習・自由</p> <p>5月27日 第22回子ども食堂うしくっ子 Sun 昼食（すき焼き風丼）・学習・自由</p> <p>8月22日より 自習室・一歩、開始 毎週火曜日 18:15～</p>
申請書に記載した「目標」に対する実施「結果」	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日が増えている 自習室・一歩が毎週火曜日に確実に開催する事が出来ている。 ・横のつながりが強くなり、親の不安が軽減する。 参加する親子が主体的に手伝ってくれるようになり、ボランティアおばあちゃんにお料理のやり方を聞いたり横にも縦にもコミュニケーションがとれている。 ・子ども達の学力向上により親の支えとなる。 自習室の開催により不登校の生徒が県立高校に進学、今も登校出来ていると報告うけた。
申請書に記載した「目的」に対する「成果」や地域社会	<p>2018年5月5日の東京新聞に子ども食堂の記事を掲載して頂きました。</p> <p>7月19日に牛久で行われる子ども居場所シンポジウムにも参加させて頂</p>

<p>へのインパクト</p>	<p>きます。ありがとうございます。</p>
<p>申請書に記載したように、市民の新たな「居場所」や「出番」をつくることにつながりましたか？</p>	<p>新しいボランティアさんからの問い合わせなどありました。子どもと親の居場所、ボランティアをするおじいさんとおばあさんの出番につながったと思います。</p>
<p>事業実施後の展望や新たに増えてきた地域課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務的な事が弱い ・一人ひとりの子ども状況の把握 ・ボランティアさんの適材適所 など
<p>花王・ハートポケット倶楽部へ一言</p>	<p>皆様の真心の助成金により確実に回数を重ねる事が出来ました。ありがとうございます。 参加する親も子どもも本当に毎回、楽しみしてくれています。今後も皆様の思いを胸に全力で頑張っていきます。</p>
<p>自己評価 (いずれかに ○ を記入)</p>	<p>A. 目標を超える成果を得ることができた B. ○ほぼ目標どおりの結果となった C. 残念ながら目標を達成できなかった D. その他()</p>





2017年度いばらき未来基金冠助成プログラム
「花王・ハートポケット倶楽部 地域助成」 決算書

団体名: きらきらスペース

活動名: 子ども食堂うしくっ子Sun、自習室・一歩

区分	科目	内容	単価	×	人数・回数	=	金額	計	うち助成金 充当額	うち自己資 金充当額	予算(うち助 成金充当 額)	予算対比	
収益	受取助成金等	地域助成	¥250,000	×	1 式	=	¥250,000	¥250,000					
	自主 財源	受取寄附金		×	1 式	=	¥24,300	¥30,000					
		リサイクル		×	1 式	=	¥5,700						
	経常収益計							¥280,000	¥280,000				
費用	諸謝金	謝礼	¥10,000	×	10 人	=	¥100,000	¥100,000	¥100,000	¥0	¥90,000	¥10,000	
	旅費交通費	ガソリン代	¥3,600	×	10 人	=	¥36,000	¥36,000	¥36,000	¥0	¥36,000	¥0	
	印刷製本費	パンフレット	¥17,500	×	2 回	=	¥35,000	¥35,000	¥4,624	¥30,376	¥5,000	¥-376	
	通信運搬費	郵送	¥82	×	20 通	=	¥1,640	¥1,640	¥1,640	¥0	¥8,200	¥-6,560	
	保険料	行事開催	¥560	×	10 人	=	¥5,600	¥5,600	¥5,600	¥0	¥4,000	¥1,600	
	消耗品費	作業着		¥35,000	×	1 式	=	¥35,000	¥35,000	¥35,000	¥0	¥0	¥35,000
		教材		¥11,836	×	1 式	=	¥11,836	¥11,836	¥11,836	¥0	¥0	¥11,836
		食材		¥35,680	×	1 式	=	¥35,680	¥35,680	¥35,680	¥0	¥60,000	¥-24,320
事務、紙コップ			¥19,620	×	1 式	=	¥19,620	¥19,620	¥19,620	¥0	¥10,800	¥8,820	
経常費用計							¥280,376	¥280,376	¥250,000	¥30,376	¥214,000	¥36,000	
当期経常 増減額							¥-376	¥-376					

残り36,000円は講師への諸謝金を予算計上していたが、発生しなかった。

2017年度いばらき未来基金冠助成プログラム 「花王・ハートポケット倶楽部 地域助成」活動報告書

活動名	空き店舗活用による「小さなお店」7店舗の新規立上げ
助成コース	B. 地域の居場所づくり助成
団体名	NPO 法人グラウンドワーク笠間
実施内容	<p>◇事業の目的</p> <p>空き店舗活用による「小さなお店」7店舗の立上げをシニアが支援する事業です。当該集積は、全25店舗中、空き店舗が7店舗あり“負のスパイラル”に陥っております。“もう一度行ってみたいワクワクする魅力的なエリア”に再生し「笠間のまちづくり」に貢献するのが目的です。</p> <p>◇事業の内容</p> <p>創業意欲はあるが「一歩踏み出す勇気」の足りない若者・ママさん・シニア等に動機づけと創業支援を行う事業です。 具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「かさま夢塾」の開校（夢の共有と創業ノウハウの伝授） ②創業希望者7名の選定とバックアップ ③「小さなお店」の魅力化演出と広報活動 ④「小さなお店」出店者間のコミュニティの形成（問題意識の共有）
申請書に記載した「目標」に対する実施「結果」	<p>空き店舗7店舗中、4店舗の新規立上げをしました。</p> <p>現状の空き店舗は、3店舗です。詳細は次の通りです。</p> <p>①創業支援型で立上げた店舗数＝3店舗 *家賃負担の軽減支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママさんの創業 「笠間茶屋」(カフェ) ・シニア女性のお店 「おしゃれさん」(衣料品と小物雑貨) ・シニア男性のお店 「ファッション工房トラスト」(衣料品) <p>②賑わい創出のために開設した店舗数＝1店舗</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあいサロンかさま～る」 音楽やイベントの多目的ホール <p>グラウンドワーク笠間が運営するスペースとして立上げました。</p> <p>「弾いて歌って観て学ぶ」をキーワードに稼働率向上中です。</p> <p>「ストリートピアノ」(街かどピアノ)を設置し開放中です。</p> <p>自前の音楽バンドを立上げました。名称:「ゴールデンサウンズ」</p> <p>7月22日にお披露目を兼ねた「ビアパーティ」を開催予定</p> <p>*現状は空き店舗で対策継続中＝3店舗</p> <ol style="list-style-type: none"> ①行列のできる超人気ラーメン店の招聘がほぼ決まりそうです。 ②賑わい創出の抜本的な打開策として「まちの駅」に加盟しました。 <p>http://www.machinoeki.com/about/</p> <p>魅力溢れる商業集積にするためランドデザイン案を決めました。</p> <p>近々、大学生と協働でリノベーションを実施予定です。</p>

<p>申請書に記載した「目的」に対する「成果」や地域社会へのインパクト</p>	<p>まだ道半ばですが、漸次賑わいが創出されつつあると確信しております。さらに確実なものとするために、今般「まちの駅」(全国ネットワーク)に加盟しました。魅力的な商業集積に生まれ変わるために、多世代交流型(学生・若者・シニア等)で英知を結集し、コンセプトの明確化と大幅リノベーションを実行します。「先立つもの」が最大の課題です。このために「クラウドファンディング」にエントリーし協賛者からのご支援を募る予定です。とくに、高齢者の「タンス預金」の有効活用を訴える予定です。</p>
<p>申請書に記載したように、市民の新たな「居場所」や「出番」をつくることにつながりましたか？</p>	<p>東日本大震災から7年目の3月11日に、「ふれあいサロンかさま〜る」(83㎡)のお披露目をしました。“弾いて歌って観て学ぶ”をコンセプトにした「多目的ホール」として有効活用が図られつつあります。既存の「グランパとグランマのお店」(コミュニティカフェ)とあわせて、2か所で、首都圏や地元市民が気軽に集える「居場所」が確立されつつあります。</p>
<p>事業実施後の展望や新たに見えてきた地域課題</p>	<p>今回ご支援いただいた助成金で「笠間市のまちづくりとコミュニティ形成」に取組み徐々に成果の「見える化」が図られつつあります。しかし、まだまだやらねばならないことが山積しておりますので、引き続き微力を尽くす所存です。一方、現下の大きな社会課題は、子どもの貧困対策と高齢者の貧困対策(孤独等、心の貧困を含む)であります。この一方策として、2019年4月オープン目標で「家でも学校でもない第3の居場所作り」(笠間市と日本財団の助成事業)に傾注しております。微力ですが「まちの駅」「第3の居場所作り」を通して、人生の最終ステージを社会性のある仕事に取組み輝きたいと祈念しております。</p>
<p>花王・ハートポケット倶楽部へ一言</p>	<p>心根優しい「花王・ハートポケット倶楽部」の皆様にご理解とご支援をいただき、シニア NPO の様々な取組みに拍車がかかりました。心から感謝しております。活動はまだ道半ばですが、機会を作って、是非ともご視察にお越しく下さい。笠間市でお会いできるのを楽しみにしております。</p>
<p>自己評価 (いずれかに○を記入)</p>	<p>E. 目標を超える成果を得ることができた <input checked="" type="checkbox"/> F. ほぼ目標どおりの結果となった G. 残念ながら目標を達成できなかった H. その他()</p>

◇「笠間茶屋」(49才ママさんのお店) NHK「ニュースウオッチ9」で放映



◇「おしゃれさん」(シニアのママさんのお店)



◇「ふれあいサロンかさま〜る」正面画像



◇イベント「歌声喫茶」



◇ストリートピアノ(街かどピアノ)



◇多世代交流「まちづくりワークショップ」



◇雑誌「田舎暮らしの本」(7月号)で紹介



◇雑誌「アントレ」(独立・開業)で紹介



2017年度いばらき未来基金冠助成プログラム
「花王・ハートポケット倶楽部 地域助成」 決算書

団体名:NPO法人 グラウンドワーク笠間

活動名:空き店舗活用による「小さなお店」7店舗の立上げ

区分	科目	内容	単価	×	人数・回数	=	金額	計	うち助成金 充当額	うち自己資 金充当額	予算(うち助 成金充当 額)	予算対比
収益	受取助成金等	地域助成	¥250,000	×	1 式	=	¥250,000	¥250,000				
	自主財源	自己資金	¥130,000	×	1 式	=	¥130,000	¥130,000				
	経常収益計							¥380,000	¥380,000			
費用	修繕費	店舗改装費	¥300,000	×	1 式	=	¥300,000	¥300,000	¥170,000	¥130,000	¥180,000	¥-10,000
	広告宣伝費	ホームページ	¥80,000	×	1 式	=	¥80,000	¥80,000	¥80,000	¥0	¥70,000	¥10,000
	経常費用計							¥380,000	¥380,000	¥250,000	¥130,000	¥250,000
当期経常 増減額							¥0	¥0				

地域助成事業事務局(いばらき未来基金)からのメッセージ

この度はご寄付、誠にありがとうございました。このように、子ども食堂や学習支援を通じた、生活困窮世帯の子ども居場所づくり、また遊休不動産を活用した地域活性につながる活動に助成させていただくことができました。

事務局を務めた茨城 NPO センター・commonsとして、助成対象団体の活動を定期的に把握したり、ネットワークを広げるための助言、さらには他の行事や地域人材とのマッチングを進めましたが、組織基盤強化として不十分なところが残りました。

茨城に限らず地方では、空き家などの遊休不動産が多く残されています。これらが有効活用され、多世代交流や居場所づくりにつながるよう推進していきたいと思います。また、地方だからこそ、地域の目を恐れ、生活困窮の課題が見えにくくなるという事情もあります。今回助成させていただいた活動は、今後の地域づくりのモデルにつながるものと思います。

今後ともぜひ本助成事業へのご支援、よろしくお願い致します。